

## 令和6年度宮崎県地域づくり顕彰受賞者の決定について

令和6年4月9日

中山間・地域政策課

### 1 顕彰受賞者

種 類	受 賞 者	選 考 基 準
地域づくり大賞	<small>かめさわ</small> 亀澤 <small>なおゆき</small> 轟幸	達成度が非常に高く、本県の地域振興に顕著な実績をあげているもの
地域づくり大賞	<small>あらおどり</small> 荒踊保存会	達成度が非常に高く、本県の地域振興に顕著な実績をあげているもの
地域づくり優秀賞	公益財団法人旭化成ひむか文化財団	達成度が高く、地域づくりに大きく貢献しているもの
地域づくり優秀賞	<small>ななつやま</small> 七ツ山婦人加工グループ	達成度が高く、地域づくりに大きく貢献しているもの

### 2 授賞式（県庁講堂）

令和6年5月9日（木）午後1時30分から午後2時45分まで

[参考：地域づくり顕彰制度について]

- ・ 地域振興に関し、特に功績のあった個人及び団体を顕彰し、本県の地域づくりの推進に寄与することを目的として平成8年度に創設。今回が29回目。
- ・ 受賞者については、「宮崎県地域づくり顕彰選考委員会」の選考を踏まえ決定。
- ・ 平成8年度から令和5年度までの受賞者は、地域づくり大賞が12個人・6団体、地域づくり優秀賞が1個人・12団体、地域づくり奨励賞が5個人・55団体。

所管：中山間・地域政策課  
担当：鍋倉、井尻  
直通：26-7035  
内線：6230、2221

# 【歴史文化の振興を通じた郷土愛の醸成】

かめさわ なおゆき

亀澤 轟幸（えびの市）（93歳）

## 1 概要

約30年にわたり地域の史跡・文化財の研究や保存活動に一貫して取り組み、郷土の偉人の顕彰や大河ドラマの誘致活動など、本県の郷土史に常に光を当て続け、歴史文化の振興に寄与するとともに、郷土愛の醸成や後進の育成に多大な貢献をした。



亀澤 轟幸 氏



島津義弘公  
銅像除幕式  
(H30.3)

## 2 活動のポイント

### ○先進性・独自性

きさきばるこせんじょう

木崎原古戦場などの埋もれていた史跡や郷土にゆかりのある偉人に光を当て、後世に引き継いでいくため、史跡めぐりや銅像の建立などの活動を通じて、市民の郷土愛を一層高め、歴史・史跡を見直す機会を創出してきた。

### ○継続性

機関紙「えびの」を途切れることなく発行し続け、長年にわたり史跡・文化財の研究や保存活動に取り組んできた。また、現在も史跡ツアーのガイド育成や島津義弘公を題材とした大河ドラマの誘致活動などに尽力されている。

### ○発展性

各地の史跡をめぐる「歴史学級」などの研究や保存活動は、フットパス団体やガイドクラブなど団体の枠組を超えて波及し、地旅、マイクロツーリズムなどへ広がりを見せている。

### ○自主性

自身の知見や知識をもとに常に郷土史に新たな光を当て続け、銅像建立の際は発起人として市内外の支援の輪をまとめた。また、会長職勇退後の現在も後進の育成に励まれている。

### ○協働性・連携性

農業団体や観光、商業など各分野の団体と連携し、市民の郷土愛の醸成に取り組んでおり、銅像建立では市内外の経済団体や市民団体等と、また、大河ドラマの誘致活動は県境を越えた連携として一大プロジェクトとなっている。

### ○効果

史跡めぐりや銅像建立等の活動は、宮崎県の郷土史に新たな視点を加え、えびの市の歴史の再評価につながった。また、市の新たな観光名所になると同時に、硫黄山噴火からの復興のシンボルとして市民の郷土愛醸成に寄与している。

## 3 その他

平成10年に「えびの市プロバスケットボール会」を立ち上げ、社会の第一線から退かれた方々へ「学習」、「奉仕」、「親睦」の機会を創出して社会貢献に取り組んできた。

# 【伝統芸能で生み出す地域の絆と活力】

## 荒踊保存会（五ヶ瀬町）

ながた とよあき

代表者：長田 豊明

結成：昭和63年（活動歴35年）

### 1 概要

郷土芸能「荒踊」の伝統を守るため、地域が一丸となった後継者育成や継承活動に取り組み、住民同士の絆の構築や誇りの醸成に寄与。また、本県初となるユネスコ無形文化遺産の登録が継承の機運をさらに高め、本県文化の知名度の向上にも多大な貢献をした。



荒踊の様子



荒踊継承教室

### 2 活動のポイント

#### ○先進性・独自性

武者装束をまとった行列の勇壯な踊りは、県内で3番目となる国の重要無形民俗文化財に指定され、坂本地区（200戸）全域の協力と責任によって、集落ごとに演ずる役種を決めるなど特色ある保存活動が行われている。

#### ○継続性

地元の小学校と連携した「荒踊継承教室」は、35年前から授業に取り入れられており、保存会と地域住民が一丸となり、若い世代へのスムーズな伝承が行われている。

#### ○発展性

風流踊の一つとして、令和4年に県内で初めてユネスコ無形文化遺産に登録されたことを機に、若い世代を中心に練習時間が増すなど活動が活発化しており、地域の活性化や次世代への継承の機運もさらに高まりつつある。

#### ○自主性

荒踊を軸に地域全体の協力と責任体制に基づく地域づくりが進んでおり、地域の青年の企画による「春まつり」などの地域おこしイベントが開催されている。

#### ○協働性・連携性

60人規模の構成で大がかりな荒踊は、集落ごとの役割分担や世代間の協働によって成り立っており、地域全体が参画する仕組みが地域の結びつきを強め、運営や行事等の円滑な実施に寄与している。

#### ○効果

荒踊の保存・継承活動は、地域のシンボリックな文化として、地域住民の誇りの醸成に寄与し、他地域に比べて地元に残る若い世代も多いなど、地域コミュニティの維持や活力の向上につながっている。また、ユネスコの登録を機に五ヶ瀬町の知名度向上にも貢献している。

### 3 その他

- ・1987年 1月 国の重要無形民俗文化財指定（荒踊）
- ・2022年11月 ユネスコ無形文化遺産登録（風流踊）
- ・2023年10月 第59回宮崎日日新聞賞（坂本地区）

# 【文化の香り高いまちづくり】

## 公益財団法人旭化成ひむか文化財団（延岡市）

すえつぐ みのる

代表者：旭化成株式会社延岡支社長 末次 稔  
結 成：昭和60年（活動歴38年）

### 1 概要

県北地域における「文化の香り高いまちづくり」を目指し、地域住民が一流の芸術文化に触れる機会を数多く創出するなど長年にわたり幅広い文化活動を展開。地域に根ざした文化活動を育て、住民の満足度を高めるなど芸術文化の振興に大きく貢献した。



藤井フミヤ展  
トークイベント



0歳からの音楽会

### 2 活動のポイント

#### ○先進性・独自性

旭化成が有するネットワークを企画運営にも生かし、地方の公演に呼ぶことが難しいようなトップレベルの音楽・美術・演劇など芸術文化に関する様々なイベントを開催している。

#### ○継続性

財団設立時から38年間にわたり、主催事業や芸術鑑賞会など年間を通じて数多くのイベントを行っている。

#### ○発展性

地域に根ざした文化の振興により、「延岡フィルハーモニー管弦楽団」や「のべおか第九を歌う会」に代表されるような県民の知名度が高い公演も育つなど、市民の文化活動の輪が広がっている。

#### ○自主性

次代を担う子どもたちの育成を目的とした公演イベントを主催・共催するほか地域の文化活動や郷土文化への理解を深めるための活動に支援を行っている。

#### ○協働性・連携性

県北3地区（延岡・日向・門川）の文化財団で連携し、幼い頃から文化に触れてもらう「0歳からの音楽祭」や月刊情報誌への掲載など、文化の普及・啓発のための共同企画を展開している。

#### ○効果

一流の音楽・美術・演劇などに触れられる機会の創出により、地域住民の生活に楽しみや満足感を与え、心豊かな生活環境づくりと文化の香り高い地域社会づくりの推進に寄与している。

### 3 その他

#### 【過去の主催事業】

- ・劇団四季ミュージカル
- ・デジタルとアナログで創造する藤井フミヤ展
- ・古澤 巖×山本耕史のスペシャルコンサート 等

#### 【芸術鑑賞会】

- ・三浦文彰×辻井伸行の音楽祭
- ・葉加瀬太郎コンサートツアー 等

# 【おかあさんの味で支える村づくり】 七ツ山婦人加工グループ（諸塚村）

ひよし かずみ

代表者：日吉 和美

結成：昭和57年（活動歴41年）

## 1 概要

昭和57年の結成当初から地元食材にこだわった商品開発に取り組み、40年以上受け継がれてきた伝統の味は村内外に多くのファンを獲得。村づくりを食で支え、味を通じた幅広い活動が地域活力の向上や関係・交流人口の創出に大きく貢献した。



グループメンバー



地元小学校の体験学習

## 2 活動のポイント

### ○先進性・独自性

「新ひむかづくり運動」の草創期（S59）から、地元素材を生かした商品開発などにいち早く取り組み、各地の加工グループ活動のモデルとして影響を与えてきた。インターネットを活用した販促など、村外との取引や交流の場も次々に開拓している。

### ○継続性

地元素材の魅力が詰まった味と製造方法を40年以上守り続けており、長年のファンも多い。若い担い手も迎え、世代間リレーによる伝統の味の継承が図られている。

### ○発展性

時代のニーズに合わせた商品の開発、パッケージの工夫、地元からの要望に応えた惣菜製造など、商品のバリエーションを増やすとともに、県外の食品会社との取引やスーパーとのコラボなど、村の「顔」として活動の場を村外にも広げている。

### ○自主性

地元の女性たちが「私たちも家計の助けを」との思いから、地場産品に付加価値を付けるために活動。災害発生時の炊き出しや弁当の無償配布、他地域の被災地に対する弁当の売上金額の募金など、ボランティア活動も精力的に行っている。

### ○協働性・連携性

村や商工会とも連携しながらグループ活動や特産品開発の発展に努めている。また、インターンシップや村内の小中学生の体験活動を積極的に受け入れているほか、子育て中の女性や定年退職者の就職の受け皿として生きがいづくりにも寄与している。

### ○効果

慣れ親しまれた七ツ山の味を求めて訪れるファンも多く、食を通じた地域づくりが地域活力の向上に寄与するとともに、伝統の味が人や企業等とをつなぎ、諸塚村の関係・交流人口の創出に大きく貢献している。

## 3 その他

- ・昭和62年、平成18年 宮崎日日新聞社農業技術賞（2度の受賞）
- ・昭和63年 諸塚村森林文化賞奨励賞
- ・平成23年 農山漁村女性・シニア活動表彰
- ・令和3年 全国農業協同組合中央会 会長賞